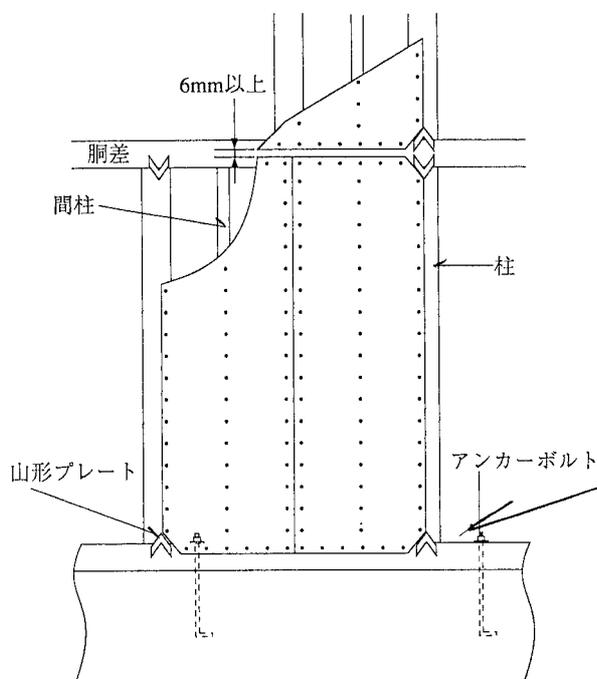


# 「木造住宅耐震診断の独り言」

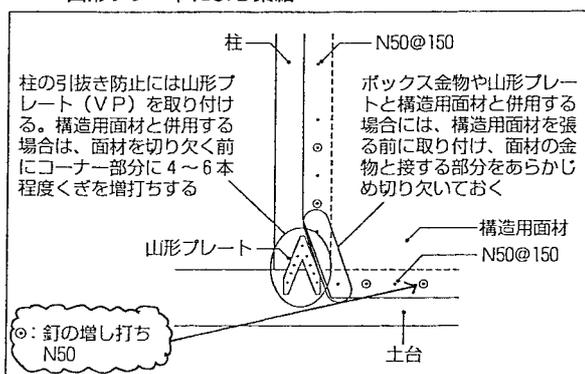
## 木造在来工法住宅の耐震補強について

### 構造用合板等の貼り方（外から補強の場合）



(注) アンカーボルトの位置は柱心より200mm以内なるべく壁の外側に設ける。

### 山形プレートによる緊結



No1：1～2階の外壁の構造用合板はJAS（特類）規格品を縦貼りとし、取付け用釘N50を@150とする。コーナーを隅切りする場合はN50釘をまし打ちすること。  
その上からは水性の防水紙を貼る事。

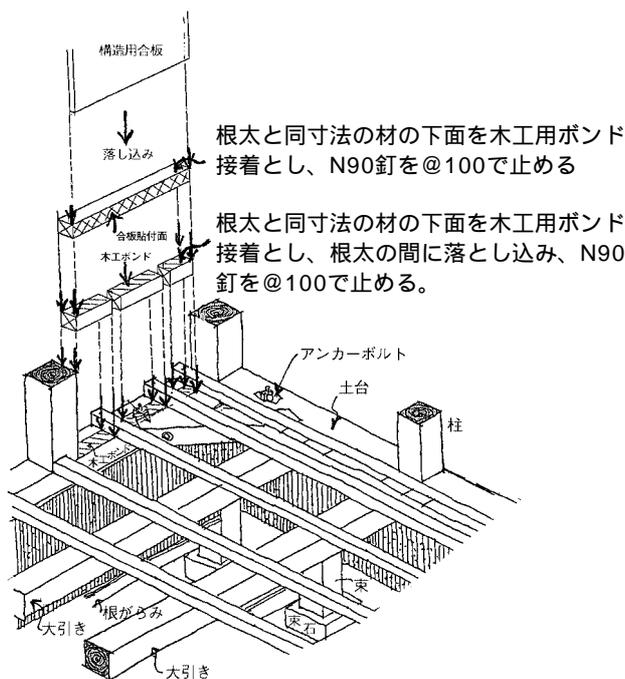
No2：補強用筋違はその筋違の倍率に応じたZマーク表示の止め金具を使用すること。

No3：1～2階の外壁構造用合板の取り合いは6mm以上あけ、地震時の合板端部の破損を防ぐ事。

No4：構造用合板を途中で継ぐ場合は裏側に受け材をいれ、N50釘を@150で打つこと。

No5：内部から補強の場合は床、天井を一部外して工事となるが、とくに床を外す場合には根太や大引が床を支持しているため、それらを撤去せず工事を進めなければならない場合があります。  
当事務所では左図のような方法で根太や大引を残して工事する方法も採用しております。

### 構造用合板等の貼り方（内から補強の場合）



船橋支部 吉政